

## 網干高校2年生の感想

・私は網干西小学校に行っているいろいろなことを学びました。1番学んだ点は、私たちには「共助」が不足しているということです。「自助」「公助」は、ある程度対策ができていても、地域の人々との関わりが少ないということに小学生との学び合いの中で気づきました。そこで、今回私たちは共助について網干西小学校の児童たちと話し合いました。どうしたら足りていない共助を補うことができるのか、例えば挨拶や日常会話、地域のイベントへの参加が意見として上がりました。防災は、誰でもできる簡単なことから始める必要があると思いました。だからこそ、防災の大切さを今後の探究活動でも伝えていきたいと思いました。

・2年生での総合的探究の時間を通じて、「防災」をテーマに小学生と交流活動をしました。私は防災について同級生以外で話し合ったことがなく、小学生と共有することが、思っていたよりも難しいことなんだということがわかりました。

ただでさえ、小学生たちは僕たちが思っていたよりも何倍も多くの情報を吸収してくれたし、それをまとめて言葉にしてくれたり、普段の私たちの活動では聞けない意見も出してくれたりしました。貴重な経験ができたと考えています。

また今回、私たちが2年生になって調査した内容を小学生に伝えた伝える上で、どうすればわかりやすく伝えることが伝えるのかが大きな課題になりました。高校生の私たちでも完全に理解するには、時間がかかる内容を短時間で伝えることはとてもハードルが高いことでした。結局、10分以上発表して終わったのですが、自分が最後まで考え抜いた発表のやり方は、小学生にも響いたと手応えを感じ、とても良かったと思いました。今回の探究活動を通して得た知識や経験を、これからの地域防災活動でも活かしていきたいと改めて強く思いました。

・今回、網干西小学校に行かせてもらって、小学生の発表を聞き、自分たちにはなかった考えや相手にわかりやすく伝えるための小道具作りなど、たくさんの工夫がされていて、小学生の総合学習の活動に対して驚

くことばかりでした。また、小学生と「共助」について話し合うときは、みんな真剣に考え、「どうすればいいのか？」班全員で最善の案を考えることができました。小学5年生とは思えないほど防災について探究をされていて、私たちにももっとできることがあるなと思いました。今回話し合いで出た考えを自分がまず率先して行おうと思います。網干西小の児童と一緒に学び合えたことは、すごく良い経験だと思った。3年生になっても探究活動を続けていきたい。新たな高校である姫路海稜高校でも小学校や中学校の接点が今のように継続されていけばいいなと思いました。今日はすごく良い経験になりました。

・今日は網干西小学校との総合的探究の時間の発表会を行いました。西小の児童とご飯も一緒に食べることができ、たくさんお話をすることができてすごく、「幸せな時間」を過ごすことができました。発表の間では、小学校の発表を先に聞き、すごくレベルが高く、私たちでも知らないことを調べていたし、紙芝居を用いるなど伝わるように発表してくれて、学び合いを深めることができよかったです。グループで「共助」の言葉を考えているときに1人1案出していき、みんなの意見をまとめた結果、地域での避難訓練を月1回行い、その際に防災の話し合いをするに決めました。学校だけだと地域の方々との助け合いができないと考えたからです。小学生の意見がしっかりしており、積極的で活発だったのですごく感銘を受けました。他の班で出た意見もどれも素晴らしくて小学校に学びに行けて本当に良かったなと思います。また小学生に会いに行きたいし、来年度の総合的探究の活動も頑張ろうと思いました。すごく良い学びの機会になりました。

・小学生は、防災について、手作りの小道具や画用紙に手書きの内容が書いてあった。班の中で担当が1人ずつ分けられており、それぞれが役割を全うしていた。小学生は伝えたい気持ちが強く、発表内容が伝わってきた。それに対し、自分たちの発表は難しい言葉が多かったと思う。自分の発表内容は、防災に関するクイズを担当したが、役割はこなすことができたと思っている。前に立って話をして、先生という立場の大変さも感じることもできた。前に出てアドリブで話すことの大変さも身を

もって感じた。やはり今回の小学校に行く体験で制作した発表のデータはきちんと発表していかなければいけないんだと思った。書いて終わりではなく、伝えることが大事なんだとしみじみと感ずることができた。

・小学生との一緒に災害関連死について学びました。小学生の作った災害についての新聞はオリジナリティーが高くびっくりしました。地震や津波のことをとても理解していて感心した。また同じような機会があったら、今度は私たちが小学生に向けて発表したいです。災害関連死は、災害に巻き込まれてなくなる直接死よりも多いです。避難所での生活を見直して改善しなければと災害関連死は減らない。小学生と話し合ったことは、共助につながっています。地域の人と人や周りの人とコミュニケーションをとっておかなければ、災害が起きたときに、情報が漏れ、正しく伝わらないし、的確な行動ができないのです。日ごろから地域への人と交流を深め、地域での避難訓練を行うことで、災害が起きたときに速やかに行動できると思いました。高校生以外からの意見を聞くのは初めてだったので、新しい発見や疑問、問題点などが見つかって、貴重な時間となりました。

・今回、網干西小学校と一緒に防災について学びましたが、率直にとっても充実した交流ができたと考えています。小学5年生になり、しっかりと防災と向き合っすごいなと感心しました。僕たち高校生はついつい深く考えすぎてしまっていて、難しくなっすまいがちだったので、小学生のまっすぐな意見が案外、単純で分かりやすく、私たち高校生や小学生でも取り組める内容だったなと感ず、今日はまた新たな発見が生まれました。私たちは最初から難しい課題に取り組もうとしてしまっすましたが、もっとシンプルで誰でもわかりやすい内容のものを掲げてから徐々に深掘りしていくべきだなと感ずました。今日1日を通して、僕たちが小学生に向けて発表して防災活動のサポートができたらいいなと感ずたのと、小学生との交流で、これからの私たちの探究活動をどうしたらいいのかを考ずるきっかけになり、たくさん学ばせてもらいました。